

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期 目標	成果の 方向性	R3年度	R4年度	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度	R4年度に向けて	R2年度	R4年度に向けて		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度			予算額 (千円)	予算額 (千円)			事業 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
II-1-(2)-① 医療・救急体制の充実	1	③ ④	応急手当の普及啓発活動の推進	救急課	市民の救命効果の向上を図るため、AEDの取扱いを含めた応急手当の普及啓発活動を推進する。	応急手当講習の受講者数	4,632人 (R2年度)	目標 40,000 人	実績 4,632 人	達成率 11.6 %	40,000 人	30,000 人	増加	継続	1,604	2,287	増額	20,370	遅れ	新型コロナウイルス感染症対策のため、1回の受講定員を半数に制限し、受講者数の目標を30,000人に見直した。応急手当の必要性をより多くの市民に理解していただくよう、講習の一部をデジタル化するなど講習体制の見直しを行う。	やや遅れ	市民の救命効果の向上を図るため、AEDの取扱いを含めた応急手当の普及啓発活動を推進するとともに、計画的に救急救命士を養成する。
	2	①	救急体制の充実強化	救急課	質の高い救急救命処置を提供できる体制に向け、計画的に救急救命士を養成する。	高度かつ安全で確実・迅速な救命処置	—	目標 —	実績 —	達成率 —	—	—	—	維持	15,158	15,157	維持	20,370	順調	計画的に救急救命士を養成し、救急体制の充実強化を図る。		
II-1-(4)-③ 総合的な消防防災体制の構築	3	①	自主防災活動の推進	予防課	地域防災力の向上を目的として、市民防災会の活動支援と訓練指導等を行う。	全193地区における市民防災推進行事への年1回以上の参加	—	目標 193 地区・回	実績 193 地区・回	達成率 100.0 %	193 地区・回	193 地区・回	193 地区・回	継続	6,596	6,596	維持	6,675	順調	地域防災力の向上を目的に市民防災会に対する訓練指導等の支援を引き続き推進する。	順調	地域防災力の向上を目的として、市民防災会の活動支援や訓練指導等を行う。 高齢者世帯等に対して住宅用火災警報器の設置促進や適切な維持管理の広報を行い、火災による被害の軽減を図る。 また、地域防災の拠点となる消防施設の整備と耐震化を計画的に進めるとともに、若者が魅力を感じる消防団づくりを推進し、入団促進を図る。
	4	①	住宅防火対策の推進	予防課	高齢者・障害者等の世帯への訪問を行い、防火・防災啓発に努めるとともに、火災や焼死事故等の防止に努める。	住宅用火災警報器の設置率	毎年度算出される全国の平均設置率 R3: 83.1%	目標 全国の平均設置率(82.6%)と同程度	実績 85 %	達成率 102.9 %	全国の平均設置率と同程度	全国の平均設置率と同程度	向上	継続	911	852	減額	22,400	順調	近年の焼死事故の状況を踏まえ、高齢者等を含む世帯に対して防火指導を継続するとともに、住宅用火災警報器の設置促進を図る。 また、住宅用火災警報器の設置義務化から10年以上が経過し、今後、電池切れの増加が見込まれることから、警報器本体の交換と定期的な点検・清掃の維持管理について啓発を強化する。併せて「無線式連動型」等の普及に向けた啓発を行う。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号 ・ 施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度		R3年度											R4年度		中期 目標
5	①		消防団の充実 強化	消防 団課	老朽化した消防 団施設の建替えを 計画的に進めると ともに、消防団の 装備の充実強化を 図る。 また、消防団員 の活動を積極的に PRするなど、消防 団への入団促進を 図る。	消防団施設整備 による地域防災 力の向上	目標	2	施設	3	施設	1	施設	地域防 災力の 向上	継続	105,538	101,852	維持	5,470	順調	建替えが必要な消防団施設 については、計画的に建替え を行う。 消防団資器材については、 仕様変更した被服等を計画的 に配置する。		
							実績	2	施設														
							達成率	100.0	%														
5	①		消防団の充実 強化	消防 団課	老朽化した消防 団施設の建替えを 計画的に進めると ともに、消防団の 装備の充実強化を 図る。 また、消防団員 の活動を積極的に PRするなど、消防 団への入団促進を 図る。	消防団員の充足 率	目標	96.0	%	96.0	%	96.0	%	96.0% (R4年 度)	継続	105,538	101,852	維持	5,470	順調	建替えが必要な消防団施設 については、計画的に建替え を行う。 消防団資器材については、 仕様変更した被服等を計画的 に配置する。		
							実績	90.6	%														
							達成率	94.4	%														
II-2- (1)-③ 住み慣 れた地 域での 生活支 援	6	③	あんしん通報 システム	予防 課	健康上特に注意 が必要な高齢者や 重度の身体障害が ある人等の家に火 災センサーやペン ダント型送信機を 付加した緊急通報 装置を設置し、火 災や救急事案等に 対し、迅速な対応 を行う。 また、緊急通報 に対する民間警備 員の駆けつけや医 療・福祉スタッフ の24時間の相談対 応により、高齢者 等が住み慣れた地 域で安心して生活 できるよう支援す る。	高齢者等の安 全・安心な生活 の実現	目標	—		—		—		高齢者 等の安 全・安 心な生 活の実 現	継続	54,050	53,522	維持	9,050	順調	利用者全員が安心してサー ビスを利用できるよう安定的 な運営を推進する。	やや 遅れ	あんしん通報システムにつ いては、利用の促進を図ると ともにサービスの安定的な運 用を推進する。 いきいき安心訪問について は、防災指導及び防災啓発を 強化するとともに、住宅用火 災警報器の設置を促進し、高 齢者の安全・安心の向上を図 る。
							実績	—															
							達成率	—															

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号 ・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期 目標	成果の 方向性	R3年度	R4年度	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度	R4年度に向けて	R2年度	R4年度に向けて			
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度			予算額 (千円)	予算額 (千円)			事業 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
7	①		いきいき安心 訪問	消防 団課	介護職員初任者 研修を修了した消 防団員が中心とな り、一人暮らし高 齢者世帯等を訪問 し、防火・防災や 家庭内での事故防 止の指導、簡単な 身の回りのお世話 を行うとともに、 福祉に関する相談 を関係機関につな ぐなど、高齢者の 安全・安心の向上 を図る。	火災や重大事故 発生の未然防止	—	目標 —			火災や 重大事 故発生 の未然 防止	継続	7,815	8,840	増額	990	遅れ			防火指導及び防火防災を強 化するとともに、住宅用火災 警報器の設置を促進し、高齢 者の安全・安心を図る。 なお、新型コロナウイルス 感染症対策として、非接触型 の広報活動を実施する。			
						消防団員による 年間訪問世帯数	—	目標 2,304 世 帯	2,464 世 帯	2,464 世 帯	火災や 重大事 故発生 の未然 防止												
								実績 0 世 帯															
								達成率 0.0 %															
II-3- (4)-② 国際協 力・交 流の推 進	8	④ ⑩ ⑪ ⑬ ⑭ ⑮ ⑰	【施策評価の み】 アジアの消防 リーダーとし ての国際協力	訓練 研修 セン ター	【施策の内容】 アジア地域の消 防関係者を受け入 れ、北九州市消防 局の消防・防災に 関する技術移転を 行う。	【施策の指標】 アジア地域から の研修員受け入 れ継続	アジア 地域か らの研 修員受 け入れ 継続	目標 受入	受入	受入	アジア 地域か らの研 修員受 け入れ 継続	継続	—	—	—	—	—	—	—	遅れ	国際協力機構（JICA）と連 携し、アジア地域の研修員が 増加するよう呼び掛け等を行 う。		
								実績 0 名															
								達成率 0.0 %															

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号 ・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
Ⅲ-2- (2)-② 市民の 文化芸 術活動 の促進	9	④ ⑩ ⑬ ⑮	消防音楽隊に よる文化活動	訓練 研修 セン ター	市主催の式典や 消防の各種行事等 に出演し、市民参 加向上の役割を担 うとともに、音楽 隊の演奏やカラー ガード隊の演技を 通じて、市のPR活 動や防火・防災啓 発活動を実施す る。 併せて、児童の 健全な育成等に寄 与することを目的 に、教育機関と連 携し、積極的に児 童教育に貢献す る。	消防音楽隊出演 の聴衆者数	91,895 人 (R1年 度)	目標 95,000 人 実績 4,263 人 達成率 4.5 %	95,000 人 95,000 人 95,000 人	95,000 人 (毎年 度)	継続	6,652	6,546	維持	4,615	遅れ	新型コロナウイルス感染症 の影響が大きく、目標として いる活動が出来ないが、Web を積極的に活用し、動画配 信、ホームページの更新、 SNS、市政だより等、市民向 け行事の周知と消防音楽隊の 知名度の向上を図る。 また、広報活動への参加者 数の増加につなげ、市民の防 火・防災意識の向上、「消防 夢コンサート」を中心とし、 消防音楽隊の演奏演技を通し た児童の健全な育成を図る。	遅れ	Webを積極的に活用し、動 画配信、ホームページやSNS を通じた広報活動を継続する とともに、音楽を通じた安 全・安心の提供と防火・防災 普及啓発を行う。
Ⅶ-1- (3)-② 上下水 道、消 防、交 通など の分野 における 国際 協力の 推進	10	④ ⑩ ⑬ ⑮ ⑰	【施策評価の み】 アジアの消防 リーダーとし ての国際協力	訓練 研修 セン ター	【施策の内容】 アジア地域の消 防関係者を受け入 れ、北九州市消防 局の消防・防災に 関する技術移転を 行う。	【施策の指標】 アジア地域から の研修員受け入 れ継続	アジア 地域か らの研 修員受 け入れ 継続	目標 受入 実績 0 名 達成率 0.0 %	受入 受入 受入	アジア 地域か らの研 修員受 け入れ 継続	継続	—	—	—	—	—	遅れ	国際協力機構（JICA）と連 携し、アジア地域の研修員が 増加するよう呼び掛け等を行 う。	